



花北青雲PTA会報

第104号

発行：令和3年10月 花北青雲高等学校PTA広報委員会



〒028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割1825番1

電話 (0198)45-3731(事)・3732(職) FAX (0198)45-3745(事)・3746(職)

URL : <http://www2.iwate-ed.jp/hkb-h/>



PTA会長 瀬川 公

令和3年度 PTA活動にあたり

会員の皆様には、日頃よりPTA活動に、ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。令和3年度PTA会長を仰せつかりました瀬川公と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度のPTA活動は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されてのスタートとなり、PTA活動の多くは、中止または活動

の制約がされた上での実施となっております。今までの「当たり前」にできなかったことができなくなり、私たちを取り巻く生活環境、教育環境も大きく変わってきております。子供たちはこの転換期に、大きな不安やストレスを抱え、日々の学校生活を過ごしていることと思います。まずは子供たちが、安全・安心な学校生活を送れるよう、校長先生はじ

め教職員の皆様と連携をとりながら、十分に配慮した活動をおこなっていきたいと思います。また、教職員と歴代PTAの方々が築きあげた花北青雲高校の良き伝統文化を、途絶えさせぬよう力を合わせ、この困難な局面を乗り越えていきたいと思っております。微力ながらも全力で会長職を努めたく存じますので、何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。さて、昨今開催される会議やセミナーの多くは、ICT機器によるリモート開催となりました。人と人との対面での交流と会話が困難になったことで、今後益々ICT機器の有効性が証明され、一層



校長 太田 優子

いあいさつ

日頃より、本校の教育活動に対しご理解と温かいご支援を頂き深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による令和元年度末の全国一斉臨時休業から1年半が経過しました。今年度は収束するのでは・・・と期待していましたが、8月現在、国内で猛威を振るっています。岩手県でも連日40人以上の新規感染者が確

認され、8月12日には岩手県独自の緊急事態宣言が出されました。学校生活も様々な制限を引き続き余儀なくされていきますが、感染防止対策とこの状況下で出来ることを工夫し教育活動を実施しております。

今年度は、高総体、インターハイ、高校野球、高文連等の各種大会が実施され、昨年度目標として

いた大会が実施されず悔しい思いをした卒業生の分まで生徒たちは奮闘しました。バドミントン部、卓球部、O A部、珠算部、ビジネス情報科が全国大会に駒を進め、日頃培った競技力を全国の舞台上で十分に発揮してくれました。

体育祭、生徒総会など前期の行事は教職員と生徒の工夫と協力で実施でき、各科の学習や検定、進路に向けた取り組みにも力を入れているところです。ワクチン接種もある程度は進んでいます。学校現場での感染拡大が今後も懸念されており、過日お知らせしたとおり、臨時休校となった場合にオ

発展して行くことが予想されません。しかしながら、社会性の原点、新たな価値を生み出す原点は、人と人が向き合い語り合うことであり、それは今後も揺るぎないに違いないと思います。

私たちが親が望むところは、子供たちがより良い学校生活をおくり、社会生活において必要とされる知恵と人間力、コミュニケーション能力を育むことだと思っております。その為には、校長先生はじめ本校教職員と親が一致団結したPTA活動が必要となりますので、会員相互の連携と参画を是非お願い申し上げます。

オンラインで授業や課題のやり取りができるよう体制づくりを進めております。ご家庭のご協力をお願いいたします。

PTA活動は昨年に引き続き5月の総会は書面議決となり、全国大会(島根大会)は初めてのオンライン開催となりました。県総会は70周年記念式典と同時に開催され、平成28年度から令和元年度まで会長をお務めいただいた吉田豊様が70周年記念表彰を受賞されました。本校PTAは今年度、青木俊樹前会長から瀬川公会長に引き継がれ、コロナ禍の中、実施可能な範囲で活動を行っていただい

おります。なお、この場をお借りして退任された青木前会長はじめ役員の皆様に心より感謝申し上げます。

「自分らしい生き方を設計す

進路指導部より

進路指導部長 三浦 秀樹

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症により混乱している世の中だが、9月の公務員試験を皮切りに3年生はいよいよ進路を決める時期がやってきた。今年の3年生も進学希望者がここ数年のように多く、学校推薦型選抜・総合型選抜入試対策に取り組んでいる。10月から行われる試験にむけて、志望校の決定も含めてラストスパートをかけている。公務員希望者は昨年度、競争率が厳しかった状況にもかかわらず9名合格という実績を残し、今年度は昨年より多くの希望者が毎日の課外授業や模試にむけて取り組んでいる。安定志向が強まり例年よりも倍率が上昇することが予想されるが、生徒は合格を信じて最後の追い上げをしている。

就職希望者は50名とほぼ例年通りの希望者数である。しかし、7月の岩手労働局の発表によると新型コロナウイルス禍で県内高校生

る」本校が目指す生徒の姿です。一人ひとりのかけがえのない人生を切り拓くために、青雲高校の特長ある教育活動を通し、知識と技術を高め、若々しい感性を磨き、

の地元就職志向が高まっている。県外の感染拡大地域を避ける動きが強く、県内企業は生徒の関心が向くチャンスと捉えて求人数は昨年よりも大幅に増えた。コロナ禍で高卒求人が不透明だった頃を考えると、就職希望者全員が就職試



外部講師による面接指導

難しい局面にも柔軟に対応出来る生徒の育成に取り組んで参る所存です。今後ともPTA会員の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

験開始日9/16のスタートラインに立たれたことは何よりであった。しかし求人数の枠は狭く、厳選採用となることが予想される。

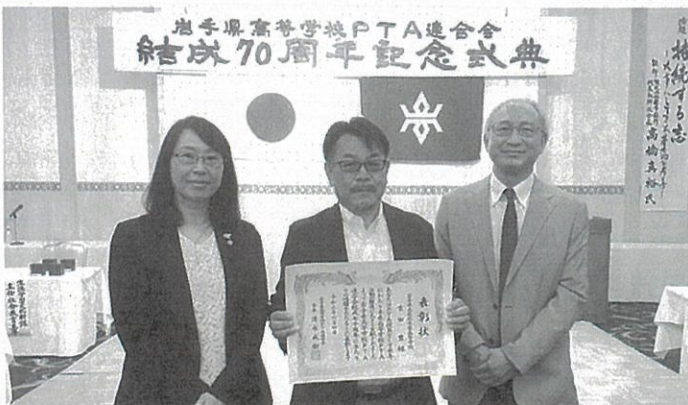
総合探究の授業では企業研究や面接練習・履歴書記入練習・SPI講座など例年と同様の対策を講じている。今後の自分の人生を決めかねない大切な試験にむけて、対策に全力を尽くした毎日を送っている。

来年度以降の求人は不透明である。新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の経済活動の停滞を通じて雇用・就業に多大な影響を及ぼすことが懸念されている。こうした様々な影響を受ける中で、1・2年生は来年度以降の進路活動となるが、今から出来るだけ欠席をせずに成績を向上させ、部活動に一生懸命取り組み、学校生活を充実したものになるように生活することが今一番大切なことだと自覚してほしい。

3年生157名全員の進路希望が叶えられるように、進路指導部として献身的に指導していく所存である。

吉田 豊 元PTA会長が表彰されました

平成二十八年から令和二年までの4年間、本校PTA会長を務められた吉田豊元PTA会長が、長年のPTA活動に多大な貢献をされたことに対して、岩手県高等学校PTA連合会結成七十周年記念に表彰されました。



一筋の道をゆく我等

富山インターハイを 振り返って

女子バドミントン部 熊谷 雅

私たちがバドミントン部は、8月8日から8月13日まで富山県で行われた全国高等学校総合体育大会に出場してきました。

昨年はコロナ禍の中でインターハイが中止となり、私たちが全国大会という場を経験することが出来なままのインターハイとなりました。私は初めて団体、ダブルス、シングルス、すべてに出場しました。団体戦では初めて全国大会を経験する人が多い中、みんな良い雰囲気を作り合いながら戦うことができ、ダブルス、シングルスでも一人ではなく、みんなで戦っているイメージで出来たので全国大会という場を怖がる事なく戦い抜く事が出来ました。そんなチームメイトにとっても感謝しています。

最後に私たちがこのような経験が出来たのは今まで私たちを指導してくださった先生、コーチ陣、OB、OGの方々、たくさんの方々のサポートがあり、人としても成長することが出来ました。本当に

ありがとうございます。これからもいろいろな場面で成長していく花北青雲バドミントン部を見届けていただけると嬉しいです。応援よろしくお願いします。

女子バドミントン部 吉田 愛梨

個人シングルの初戦の相手は京都府の京都市外大西高校でした。東北大会が中止となり、私は初めて大きな舞台で戦うことになりました。当日まで緊張でいっぱいだったけど「挑戦」という気持ちで忘れずに持って試合に臨むことができました。

試合は相手にペースを握られ思うように点が取れず勝つことはできませんでした。しかしリードする場面もいくつかあり、強い相手に勝つチャンスを作ることができ、最後まで諦めずに戦い切ることもできました。

個人ダブルスの初戦の相手は、東京都の関東一高校でした。試合の1点目から前に踏み込んで自分達から得意のプレーを仕掛けることができました。後半になるにつれ競り合う場面が増えたが、落ちていく我慢のラリーをすることができました。パートナーと笑顔でハイタッチをして悔いなく戦い切ることができました。

団体戦のシングルスでは、「楽しく前向きに！」を自分の目標にしたことで、最後のセットで粘り

インターハイ 8/8～8/13 富山県高岡市、射水市

バドミントン

●女子学校対抗戦

1回戦

花北青雲高校 3-2 文化学園長野高校 (長野県)

D1 清水美羽 1-2 小林茉莉花

畠山鈴未 滝沢杏奈

D2 熊谷 雅 1-2 代田楓子

吉田愛梨 原 咲織

S1 佐藤鈴緒 2-0 山口あずさ

S2 熊谷 雅 2-0 小林茉莉花

S3 吉田愛梨 2-1 代田楓子

2回戦

花北青雲高校 0-3 柳井商工高校 (山口県)

D1 清水美羽 0-2 水津愛美

畠山鈴未 新見桃芭

D2 熊谷 雅 1-2 日野石杏

吉田愛梨 田口真彩

S1 佐藤鈴緒 0-2 金廣真季

●個人対抗戦ダブルス女子

1回戦 熊谷 雅 2-1 高橋茉優 関東第一 (東京)

吉田愛梨 田中珠鈴

2回戦 熊谷 雅 0-2 牧野美涼 日章学園 (宮崎)

吉田愛梨 山内のどか

●個人対抗戦シングルス女子1回戦

熊谷 雅 0-2 吉川天乃 倉敷中央 (岡山)

吉田愛梨 0-2 橋本湖々杏 京都外大西 (京都)

●個人対抗戦ダブルス男子1回戦

伊藤裕哉 0-2 平野 莉久 九州国際大付 (福岡)

岩間亮太 水口稜太郎



勝つことができました。チーム全員で勝ちにつながる試合ができたと思えました。苦しい練習も仲間と一緒に乗り越えられたし、見えないところで支えて下さる方々がいたからこそまで成長することができたと思います。結果は、1回戦敗退だったけど、3年間の力を発揮することができた大会になりました。

今まで支えてくださった、家族、チームの仲間・顧問の先生、本当にありがとうございます。学んだことをこれからの進路に活かし前向きに頑張ります。

女子バドミントン部 島山 鈴木

団体初戦の相手は、長野県代表の文化学園長野高校でした。緊張していました。本番では必死にシャトルにくらいつき前向きにプレーすることができました。結果は3-2で勝ち、4時間の試合を行いました。2回戦目の相手は、第1シードの山口県代表の柳井商工でした。

優勝候補の強豪校に恐れず、立ち向かう気持ちで挑みました。結果は0-3で負けてしまいました。が、団体メンバー全員がひとつとなり最後まで戦うことができました。

今年度のインターハイという舞台で選手一人一人が自分の力を出すことが出来ました。

最後に先生、コーチ、OB、OG、保護者の方々、今まで本当にありがとうございました。これからも応援よろしくお願いします。

インターハイを振り返って

男子バドミントン部 伊藤 裕哉

私たちバドミントン部は、8月8日から8月13日まで富山県で行われた全国高等学校総合体育大会に出場してきました。

個人戦ダブルスの初戦の相手は、福岡県代表の九州国際大学付属高等学校でした。高校初めての全国大会で緊張しましたが、パー



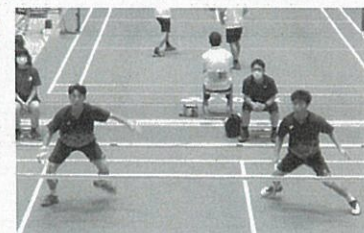
トナーと声を掛け合い、楽しんでプレーすることができました。格上の相手に食らいついていき、デュースまでいきましたが、0-2で負けてしまいました。試合が終わった時は悔しい気持ちもありましたが、やりきったという気持ちが強かったです。パートナーに感謝しています。

インターハイを通して、学ぶことが多かったと思います。コロナ禍という厳しい状況でバドミントンに打ち込めるのは多くの方々の支えがあったからこそだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。後輩たちには来年のインターハイで1回でも勝利を掴んでほしいです。

男子バドミントン部 岩間 亮太

ダブルスだけの出場だったので、惜しくも県大会で敗れたチームメイトの思いや、県の代表という自覚を持って試合に臨みま

した。結果は0-2で負けてしまい、終盤せった展開だったため惜しい気持ちがあります。仲間達の想いをのせ一球一球集中して取



り組めた最高の試合となりました。コロナ感染拡大防止のため全員で会場に行き声援をもらうことはできませんでしたが、ライブ配信を通して応援してもらい感謝の気持ちでいっぱいです。

最後にこのような最高の舞台で試合を行うことができたのは、指導してくださった先生方、OB、OGの方々、岩手県バドミントン協会の方々のお陰です。本当にありがとうございます。

これからも花北青雲バドミントン部は躍進し続けるので応援よろしくお願いします。

富山インターハイを振り返って

女子卓球部 佐藤 柚佳

私は8月12日から富山県富山市で行われたインターハイに出場しました。

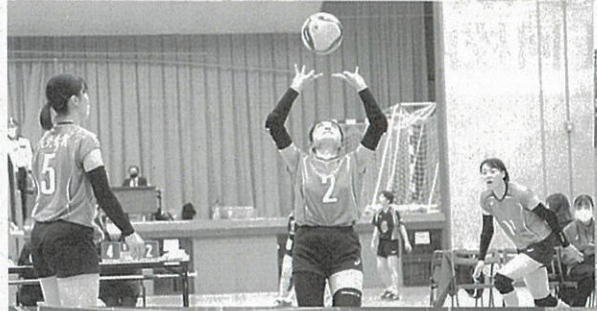
今大会ではインターハイという高いレベルの中で自分の実力を発

揮して1回でも多く勝つことが目標でした。初戦、鹿児島県代表の選手との対戦でマッチポイントを取られながらも食らいついて逆転し勝つことができました。勝因としてはリードされマッチポイントを取られたところでも、自分のできることをしようと冷静にプレーできたことだと思います。2回戦では奈良県代表の選手との対戦で実力差があり0-3で敗れました。しかし格上の選手に対し、今の実力を出したプレーができたので心残りはありませんでした。今回のインターハイを振り返って、結果は2回戦敗退となったものの試合内容に関しては納得できるものだったので良かったです。また、1試合1試合で支えて下さった方々に感謝しながらプレーできたことも良かったと思います。これからも感謝することを忘れずに頑張ります。



活動 PHOTOGRAPH





雑穀活用 だら焼きどうぞ

花北青雲高 月1回校内販売



花北青雲高校で開かれた青雲だら焼きの販売会

市外イベントでPRへ

【花巻】 花巻市石巻谷町の「雲だら焼き」の販売が始まると、花北青雲高校(太田)も、青雲だら焼きは情熱をこめて、市外のイベントでも販売してPRする。21日、同市、今年度の3学科が合同し、焼きたての「雲だら焼き」を、地元菓子店の協力を得て、青雲だら焼きは20年に、同校オリジナル菓子「青雲」2020年度に開発、販売、シニア情報科2年生でマ

▽岩手日報 令和3年6月22日

ケテイングを選択した生徒が企画、開発は協力を得て、町の菓匠丸が協力した。1年生には雑穀を使った「雑穀酒」を、2年生は「雑穀あん」を包んだ。雑穀酒は、雑穀が製造し、情報科が焼き印を製作、シニア情報科はアイディアを提供し、広報活動に取り組み、20年の同校の文化祭まで販売し好評を得た。校内での販売は、商品開発や販路拡大により理解を深めてもらおうと実施し、商業研究同好会の3年生らが担当を務める。1個100円で、初日は50個を売り、販売開始とともに生徒や教員が次々と買い求め、10分ほどで完売した。同好会の赤坂真心さん(シニア情報科3年)は「全ての学科が力を合わせ



生地に雑穀甘酒などを使用した青雲だら焼き。「花北青雲」などの焼き印も施されている。

花巻東 15-4 花北青雲

▼花北青雲、第1シードから先制。花北青雲は初回2死三塁から「後ろにつなぐ思いで打った」と高橋大智(2年)の左前打で第1シード相手に2点目を奪った。「自分たちらしい点の取り方だった」と松浦友輔監督。高橋は三回にも中前適時打を放った。だが、差は縮まらなかった。

春は地区予選敗退。悔しさを胸に1白千本をノルマに奮起を続けてきた。鎌田有仁主将(同)は「春からの成長を感じた。さすがが素晴らしい表情。2年生には力がある。来年は実力を感じる存分発揮して欲しい」とエールを送った。

▽岩手日報 令和3年8月18日

花北青雲 足絡め快勝

【花北青雲 8-1 大東】 花北青雲がアイヤモンを所狭し疾走し、足で流れを引き寄せた。一回1死、死球で出た福山華平(3年)が「三塁を奪うと、さすがに三盗も決めた。さらに四球で出塁した中島大智(3年)も盗み、無安打で2死。三塁の好機を創出。高橋誠(3年)の右中間一塁打で2点を先制し、勢いに乗った。ベンチのムードが高まって精神的なゆとりが生まれ、打線は大東先発藤野斗(3年)のきわどいボールを慎重に見極めて、序盤、走者を出した。

大東打線、反撃遠く

から高めのボール球を振られ淡白な様子だった大東打線と対照的に、粘りの打撃と積極的な走塁で得点を重ねた。50秒前後の福山は「自分の足だけで速くはないけれど、打てなくてチャンスもなくなって中軸につなぐ役割を果たせるように走塁には力を入れている。投手のフォームや投手、一塁手の肩を覗ながらチャンスを狙っていると、日頃の研究成果を強調した。次戦は第1シード花巻東。松浦友輔監督は「積極プレーでつかんだいい流れのまま、全力で挑みたい」と気を配った。



大東 花北青雲 1回裏花北青雲が死球、二盗福山(右)が三盗を決め、チャンスを広げる。三塁手菊池光、遊撃手川原山

▽岩手日報 令和3年8月16日

全国高等学校情報処理 競技大会に参加して

ビジネス情報科 平 彩斗

私は、7月25日に開催された全国高等学校情報処理競技大会に出場してきました。

この大会は文字通り情報処理の能力を競うもので、内容は関連用語や計算問題からなる第1部と表計算やアルゴリズムからなる第2部に分けて出題され、各40分の合計80分で全てが決まります。

過去問題を演習していて、特に第2部が県大会よりも難しいと感じました。表計算はより複雑になり、アルゴリズムは流れ図だけを用紙の見開きが埋まるほどあります。そのため、まだ太刀打ちできる第1部に力を注ぎました。似たような名称の単語同士をしっかりと暗記したり、出題率の高いディスク回転率の問題などを繰り返し解いたり、自分なりに工夫して学習しました。そして迎えた本番。開会式会場の最前列から後



ろを振り返ってみると、その人数に圧倒されました。ここにいる全員が学校の看板を背負ってこの大会に臨んでいると思うと、気が引き締められました。そして迎えた本番。第2部では今までよりかはるかに難しい問題に苦しみましたが、対策していた第1部は目標としていた点数より高く、やってきたことが通用したという手応えが得られました。

これからこの大会を目指していく1・2年生の皆さんに、コツを伝授したいと思います。問題を解く順番が重要です。特に第1部は問題数が多いため、いかに自分が得意な問題を多く解けるかが勝負となります。例えば、計算問題は時間がかかるため、順番通りに解いていたら時間切れ、ということが起こり得ます。問題の取捨選択をするのがポイントです。第2部については、先述したように過去問題を多く解き、問題に慣れることが必要です。そのうえで、アルゴリズムより比較的解きやすい表計算に注力するなど、自分に合った解き方を見つけるのがおすすです。目標に向かって、頑張ってください。応援しています。

最後になりますが、指導してくださった先生方に感謝の意を申し上げます。本当にありがとうございました。

全国高等学校ワープロ競技大会・ 全国パソコン技能競技大会に参加して

OA部 平 彩斗

私は8月4日に名古屋市内で開催された全国高等学校ワープロ競技大会に出場してきました。この大会は、10分間で文章をどれだけ速く、正確に打てるかを競うものです。

今までの大会と違う点は、個人での出場ということです。団体出場の場合は3人1組のチームとなり、前の打者の変換を引き継いで次の打者が打数を伸ばしていきます。しかし、個人出場の場合は変換をすべて自分で行わなければなりません。仲間に頼っていた部分が増え膨らみになり、ミスが増えました。そこで、速さより正確さを重視した練習にシフトし、漢字が多い問題を中心に練習に励んできました。また、部活動の時間のみならず、家でも練習をしました。キーボードを触らない日は無かったと思います。



そして迎えた大会当日。会場の

広さに驚き、集まる人の多さに驚きました。競技前に指ならしをしていると、どんどん緊張が高まってきました。そんな時、柳原先生が「天才は努力する人には勝てない、努力する人は楽しむ人には勝てない」と声をかけてくださいました。これが心に響き、全力で楽しんでやる、という気持ちで競技に臨むことができました。

結果は、100字を打ち、佳良賞（25位/228名）を頂きました。入賞できたこともそうですが、何より嬉しかったのは、新人戦、県大会で苦杯を嘗めさせられた水沢商業高校に勝てたことです。このライブ





ル（私が勝手に思っているだけかもしれない）がいたからこそ、絶対に負けたくないという競争意識が芽生えて、厳しい練習も乗り越えることができたと思います。

また、2日後に行われた全国パソコン競技大会にも出場してきました。10分間で打った打数を競い合う、という部分は同じなのですが、1ページあたりの文字数が多く文字がとても小さいため、より難しいという印象を受けました。結果は、佳良賞(第18位/106名)をいただきました。

私たちの代を始めとして、花北青雲のOA部は人数が増加しており、これはとても嬉しいことです。後輩の皆さんには目標を持って練習に励み、仲間同士で高め合ってほしいと思います。最後にありますが、この大会に出場できたのは、決して自分一人の力ではありません。共に練習してきた仲間たち。時に厳しく、時に優しく指導してくださった柳原先生。そして家族の支えがあった



からこそ、ここまで来ることが出来ました。本当にありがとうございます。

全国高等学校ビジネス 計算競技大会に参加して

珠算部 富岡 輝希

私は7月23日に盛岡商業高等学校で開催された全国高等学校ビジネス計算競技大会に出場しました。1年生の時に東北大会に出場したことがあったけれど、全国大会は初めてだったのでいつも通りできるか不安でした。

しかし、全国大会は新型コロナウイルスの影響で各都道府県での開催となりました。他県の選手とのそばんの速さを見るのができなかったのはとても悔しかったけれど、周りは岩手の選手しかいな

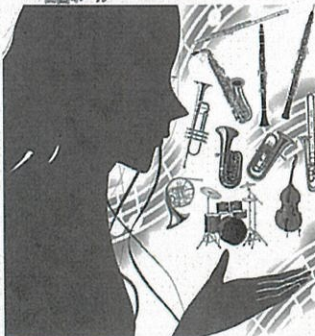
吹奏楽部第14回定期演奏会



花北青雲高等学校吹奏楽部 第14回定期演奏会



花北青雲高等学校 吹奏楽部
第14回 定期演奏会
～勇気～
新大市町文化会館 開演:13:30 開演14:00
三田ホール



かったのであまり緊張せずいつも通り計算ができたので良かったです。でも、まだ大会の結果がこの文を書いている時点では結果が届いていないので、少しでも良い結果であれば3年間頑張ってきた甲斐が有ると思います。今回の全国大会出場は周囲の人たちの協力なくしてはあり得ませんでした。私は今回の経験で部員や家族に対する感謝の気持ちを強く感じました。後輩の1・2年生にも協力しあうこと、



助け合うこと、そして感謝の気持ちを忘れずに日々の部活動や大会を頑張ってもらいたいと思います。

部活動の成績

サッカー部

男子
第73回 対金ヶ崎・大船渡東・大槌高校
1回戦 対金ヶ崎・大船渡東・大槌高校
2021 L I L E A G U E D 3

女子
第27回 対盛岡女子サッカーリーグ
第1節 対盛岡女子サッカーリーグ
第2節 対盛岡女子サッカーリーグ
第3節 対盛岡女子サッカーリーグ
第4節 対盛岡女子サッカーリーグ
第5節 対盛岡女子サッカーリーグ
第6節 対盛岡女子サッカーリーグ
第7節 対盛岡女子サッカーリーグ
第8節 対盛岡女子サッカーリーグ
第9節 対盛岡女子サッカーリーグ
第10節 対盛岡女子サッカーリーグ
第11節 対盛岡女子サッカーリーグ

野球部
第68回 春季東北地区高校野球選手権大会
1回戦 対遠野緑峰 0-10 (7回コールド)
2回戦 対花巻東 0-7 (7回コールド)
3回戦 対花巻東 0-9 (10地区予選敗退)
4回戦 対花巻東 0-15 (5回コールド)

陸上部
男子
第73回 春季陸上 一関大会
500m 佐藤晴天 5位
1000m 佐藤晴天 5位
1500m 佐藤晴天 5位
2000m 佐藤晴天 5位
3000m 佐藤晴天 5位
4000m 佐藤晴天 5位
5000m 佐藤晴天 5位
6000m 佐藤晴天 5位
7000m 佐藤晴天 5位
8000m 佐藤晴天 5位
9000m 佐藤晴天 5位
10000m 佐藤晴天 5位
15000m 佐藤晴天 5位
20000m 佐藤晴天 5位
25000m 佐藤晴天 5位
30000m 佐藤晴天 5位
35000m 佐藤晴天 5位
40000m 佐藤晴天 5位
45000m 佐藤晴天 5位
50000m 佐藤晴天 5位
55000m 佐藤晴天 5位
60000m 佐藤晴天 5位
65000m 佐藤晴天 5位
70000m 佐藤晴天 5位
75000m 佐藤晴天 5位
80000m 佐藤晴天 5位
85000m 佐藤晴天 5位
90000m 佐藤晴天 5位
95000m 佐藤晴天 5位
100000m 佐藤晴天 5位

女子
第73回 春季陸上 一関大会
500m 佐藤晴天 5位
1000m 佐藤晴天 5位
1500m 佐藤晴天 5位
2000m 佐藤晴天 5位
3000m 佐藤晴天 5位
4000m 佐藤晴天 5位
5000m 佐藤晴天 5位
6000m 佐藤晴天 5位
7000m 佐藤晴天 5位
8000m 佐藤晴天 5位
9000m 佐藤晴天 5位
10000m 佐藤晴天 5位
15000m 佐藤晴天 5位
20000m 佐藤晴天 5位
25000m 佐藤晴天 5位
30000m 佐藤晴天 5位
35000m 佐藤晴天 5位
40000m 佐藤晴天 5位
45000m 佐藤晴天 5位
50000m 佐藤晴天 5位
55000m 佐藤晴天 5位
60000m 佐藤晴天 5位
65000m 佐藤晴天 5位
70000m 佐藤晴天 5位
75000m 佐藤晴天 5位
80000m 佐藤晴天 5位
85000m 佐藤晴天 5位
90000m 佐藤晴天 5位
95000m 佐藤晴天 5位
100000m 佐藤晴天 5位

卓球部

男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対専大北上 0-3
2回戦 対専大北上 0-3

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡二 0-3
2回戦 対盛岡二 0-3
3回戦 対盛岡二 0-3

バドミントン部
男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡二 0-3
2回戦 対盛岡二 0-3
3回戦 対盛岡二 0-3

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡二 0-3
2回戦 対盛岡二 0-3
3回戦 対盛岡二 0-3

ソフトテニス部
男子
第31回 対岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

柔道部

男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

剣道部
男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

空手道部
男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

吹奏楽部

男子
第59回 対岩手県吹奏楽コンクール
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第59回 対岩手県吹奏楽コンクール
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

合唱部
男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

文芸部
男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

その他

男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

女子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

男子
第73回 対岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 対盛岡工 0-4
2回戦 対盛岡工 0-4
3回戦 対盛岡工 0-4
4回戦 対盛岡工 0-4

環境美化活動

PTA環境整備活動を 通じて

環境整備委員長 藤原 優

去る7月26日(月)16時より、石鳥谷駅待合室、地下通路清掃、東口西口ロータリー周辺の草取り及びゴミ拾いの活動を行いました。

当日は、天候も良く、暑さの中、



3年生の参加希望者、先生方、環境整備委員の皆さんと新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスクを着用し活動しました。暑さ対策のため、1時間の活動時間のなか、30分に一度水分補給の時間をとりながらも、熱心に環境整備活動を行いました。

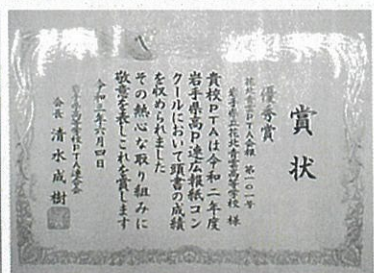
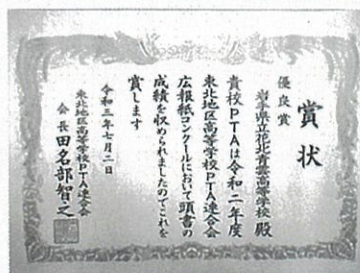


当日は夕方になっても日中の暑さが残る中、頑張って作業を続けました。その後西口ロータリーに集まり、閉会となりました。閉会時、石鳥谷駅の方より参加者全員にクリアファイルをいただきました。暑さの中で作業を頑張ったからだと思います。

参加者が女子生徒だけだったのが残念でした。来年は男子生徒の皆さんも参加してほしいです。委員長として今年だけの参加でしたが、皆様方のお陰で活動できました。本当にありがとうございます。



本校PTA会報第101号が、岩手県高等学校PTA連合広報紙コンクールにおいて「優秀賞」を受賞しました。また、同誌が、東北地区高等学校PTA連合会広報紙コンクールにおいても「優良賞」を受賞しました。原稿を書かれた方々に感謝致します。



広報委員会

委員長 佐藤 絵理
副委員長 阿部 晃一
委員 小原 嘉子
委員 須川 龍志

印刷所 清水印刷